

令和元年度 森林環境譲与税の用途について

四万十町農林水産課 林業振興室

(1) 歳入 単位:千円

区分	金額
森林環境譲与税	60,786
前年度繰越(基金積立額)	0
	0
歳入合計	60,786

(2)歳出(使途内訳) 単位:千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		森林環境 譲与税	その他		
臨時賃金(意向調査業務)	1,579	1,500	79	四万十町地吉地区の一部約70ha(26、27林班)の森林簿や林地台帳による情報収集、図面整理、森林所有者の特定などの意向調査業務。	対象者21名(約70ha)の意向調査を実施。
森林情報システム導入委託料	29,799	14,900	14,899	森林情報の精度向上のため、平成30年度に林野庁が実施した航空レーザー測量のデータを用いた地形解析及び森林資源解析の情報を整備。	四万十町十和地域の地形及び森林資源解析を実施、森林資源解析システムを導入した。(窪川地域、大正地域はR2年度以降を予定)
四万十ヒノキ普及啓発販売促進事業委託料	5,000	5,000	0	四万十ヒノキ製品における都市部でのニーズ調査、新たな商品のデザインや開発、企業とのタイアップによる製品販売など、地域おこし企業人等の協力を得ながら、これまで取組みが不十分だった首都圏や都市部への普及啓発及び販売促進活動を中心に、四万十ヒノキ製品のブランディング(※1)をすすめている。(森林組合委託事業)	町内林業関係者で構成するワークショップの開催、首都圏の富裕層向けフリーペーパーへの広告掲載、PR用ポスター作製、四万十ヒノキ商品企画・企業タイアップ施策など、企業人の協力により新製品の開発、新たな販路開拓を進めている。
担い手育成支援事業	5,744	5,200	544	林業従事者の人材育成および確保のため、国の「緑の雇用事業」を活用し森林組合や林業事業体が雇用する林業従事者育成に要する経費に対し、国制度と合わせて月額15万円を支援。(ただし、1事業体あたり2名まで、ひと月あたりの就業日数20日以上、採用5年目までを対象)	町内3事業体が雇用した新規就業者5名について支援を行い、林業担い手の育成に寄与した。
木材流通販促事業	352	300	52	町内の森林組合、林業事業体、製材組合等が実施する木材の普及啓発活動、木材流通販路拡大及び経営基盤強化等による四万十町ヒノキの販売・利用促進に繋がる活動を支援。(補助率1/2以内)	町内2事業者が実施した四万十ヒノキPRイベントの開催や四万十ヒノキ新製品開発に要する経費について支援。
林内路網改良事業	830	800	30	森林経営計画及び高知県森の工場活性化対策事業計画の承認を受けた森林で、林業事業体が実施する森林整備における木材搬出のための基幹的な役割が期待される作業道の機能の強化、機能の復旧等に係る費用を補助。(補助率:定額)	収入間伐を予定している森林の既設作業道の路面整備を実施。 町内1事業体 路面整備2,764m
四万十ヒノキPR用備品購入事業	1,241	1,200	41	JR四国が令和2年度から高知ー窪川間で計画している観光列車運航開始により、町外からの観光客増加も見込んで駅舎内装の改修を実施。これに併せて、四万十ヒノキを使ったテーブルと椅子を製作。窪川駅待合室に設置した。	四万十町産ヒノキ集成材のテーブル3台、イス22脚を窪川駅待合室に設置。
森林環境整備基金積立金	31,886	31,886	0	次年度以降の森林整備促進、未整備森林の解消に繋がる取組み等に必要な財源として基金への積み立て。	
歳出合計	76,431	60,786	15,645		

(※1)商品を知り・連想してもらい、ブランド・ロイヤルティ(ブランドへの忠誠心)を持ってもらうことで「売れ続ける仕組みづくり」を構築するもの